

# 日本郵船グループ 物流事業説明会

2023年6月5日（月）

日本郵船株式会社

郵船ロジスティクス株式会社



# Contents

## 1. NYKにおける物流事業、YLKの位置付け

1. 物流事業の成り立ちと業績推移
2. 新中期経営計画における物流事業の位置づけ

## 2. YLK会社概要

1. YLK会社概要
2. 基本戦略
3. DX、環境関連の取り組み

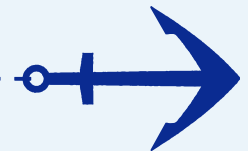
## 3. 投資計画、M&A

1. 投資計画
2. 地域特性および戦略分野
3. 過去の投資実績

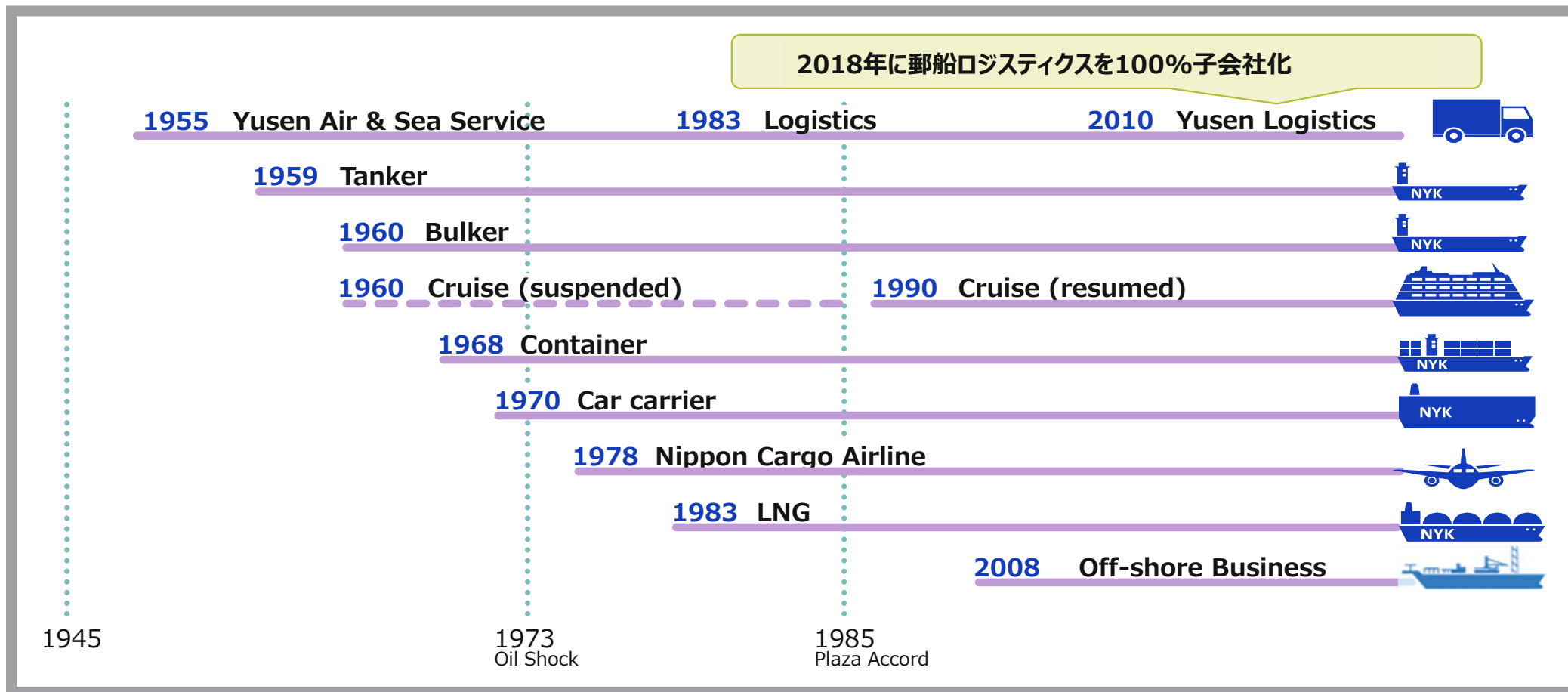
## 4. NYKグループ協業事例

(\*) NYK：日本郵船、YLK：郵船ロジスティクス

# 1. NYKにおける物流事業、YLKの位置付け

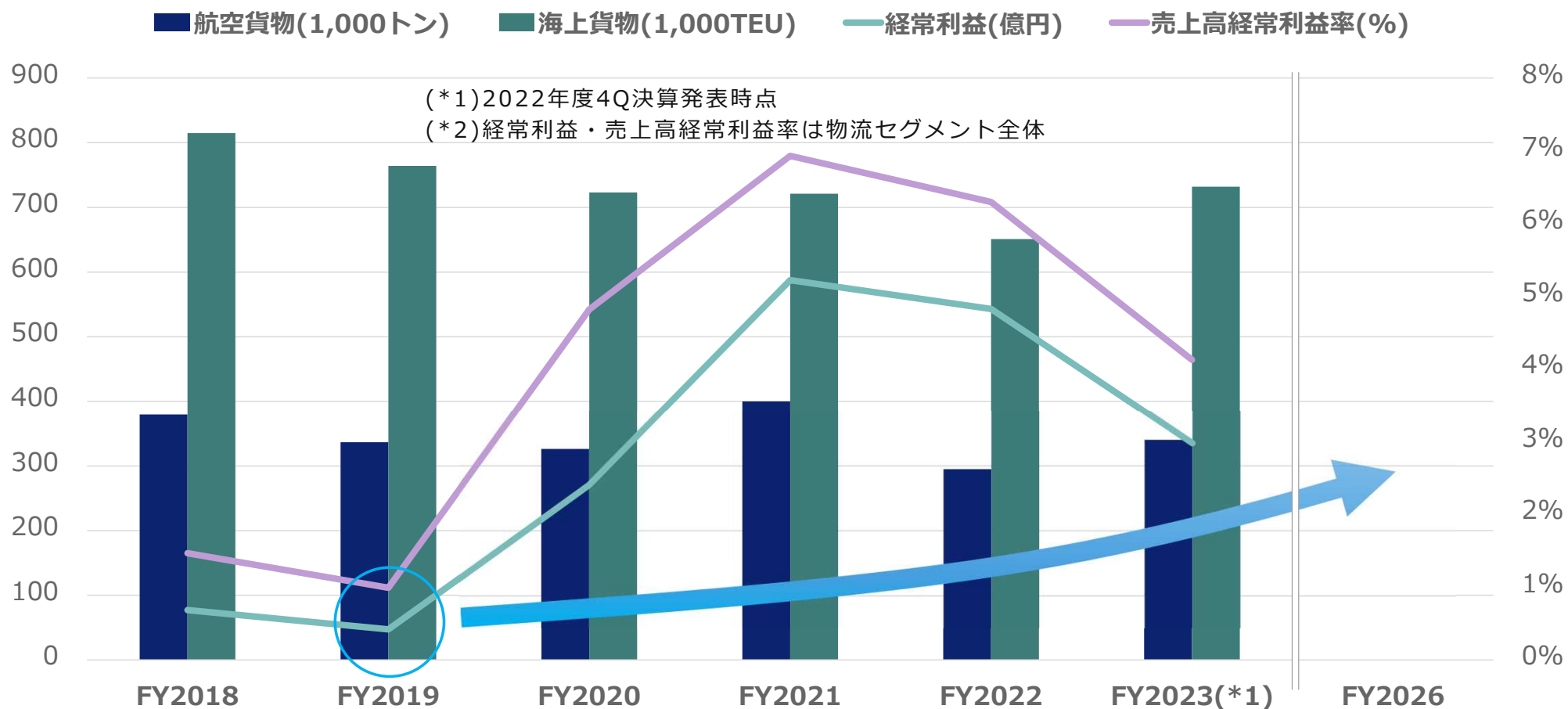


## ■ 総合物流事業の一翼を担う

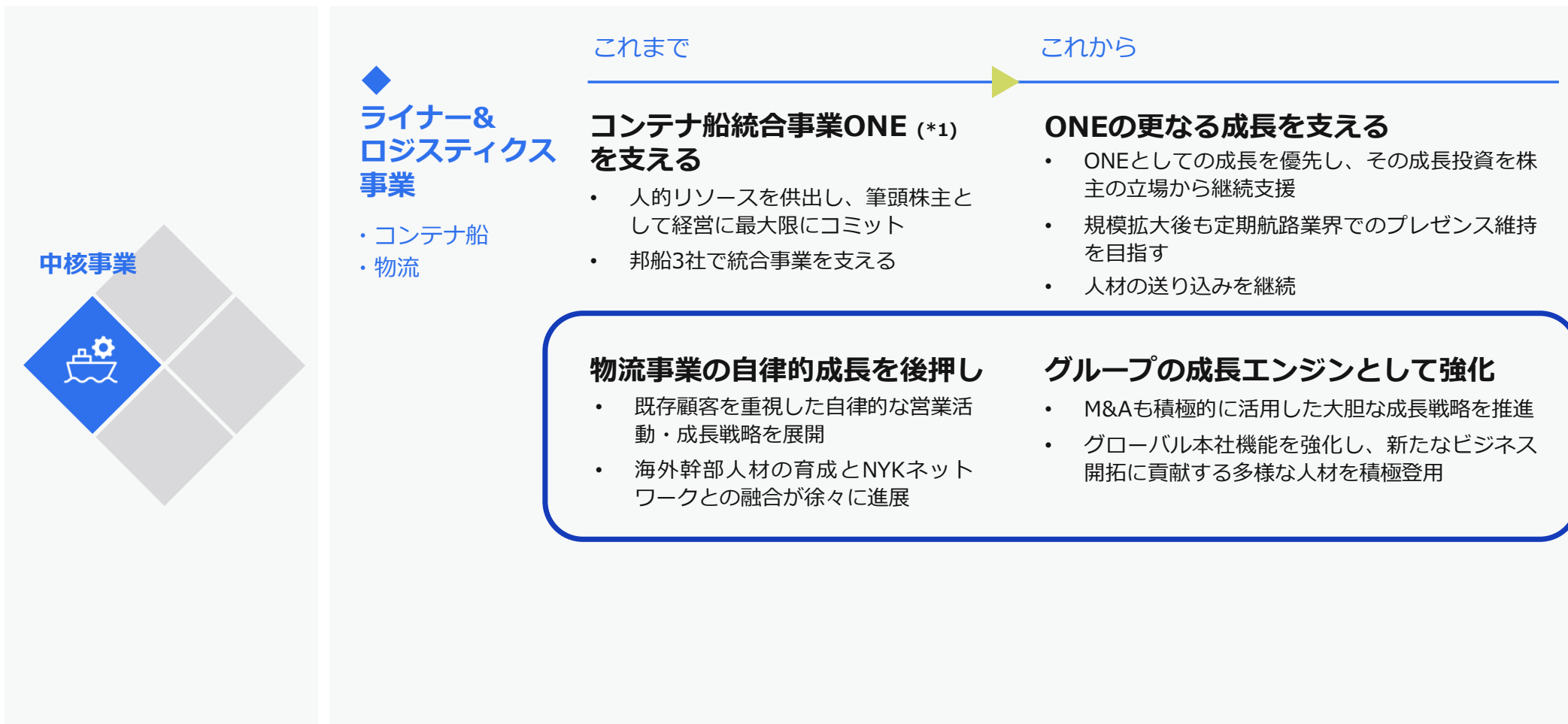


## 物流事業の業績推移

- プレコロナ比で業績水準を底上げし、安定化を図る
- 市況ボラティリティの大きい海運事業とのポートフォリオで収支安定化への貢献を目指す

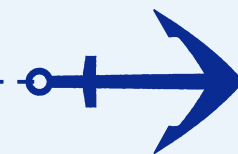


## ■ 中核事業としてM&Aを活用した成長戦略を推進



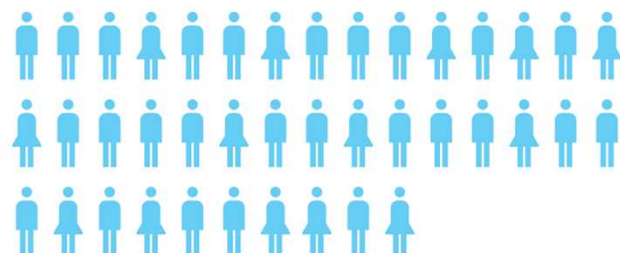
(\*1) Ocean Network Express

## 2. YLK会社概要



372都市47カ国に展開するグローバルネットワーク

372都市 47カ国



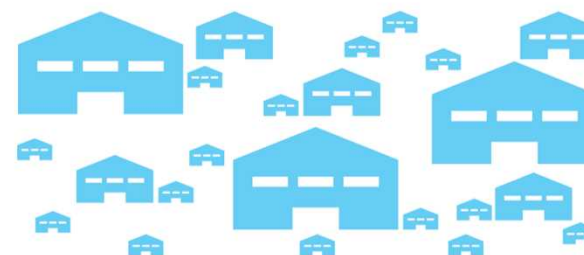
約25,000名

以上のスタッフが各地でグローバル物流をサポート

倉庫面積約

296万  $m^2$

を戦略的に設置





### 航空貨物輸送

- 年間29.5万トン（2022年度取扱実績）
- 一般貨物から医療品・医療機器、半導体装置、食品まで幅広い商品の輸送に対し、door to doorのシームレスなサービスを提供

### 海上貨物輸送

- 年間65.1万TEU（2022年度取扱実績）
- FCL,LCLサービスを軸に、重量物や各種プロジェクト貨物への対応、また通関・保管・輸配送・内陸への輸送も含めた海陸複合一貫サービスの提供

### コントラクト・ロジスティクス

- 保管・荷役・流通加工・輸配送・物流情報管理を一括して請け負う物流サービス  
顧客の要望に合ったテーラーメイドの物流を実現するとともに、あらゆる物流シーンに応じたロジスティクスソリューションを提供

### サプライチェーン・ソリューション

- 顧客のサプライチェーンの戦略パートナーとなり、継続的にサプライチェーン改革や物流管理に関するソリューションサービスを提供
- 最適なサプライチェーン構築に向けた分析・企画・モデリングを行う物流コンサルティング
- サプライチェーンの実行・管理・パフォーマンス向上のためのコントロールタワー
- ITソリューション

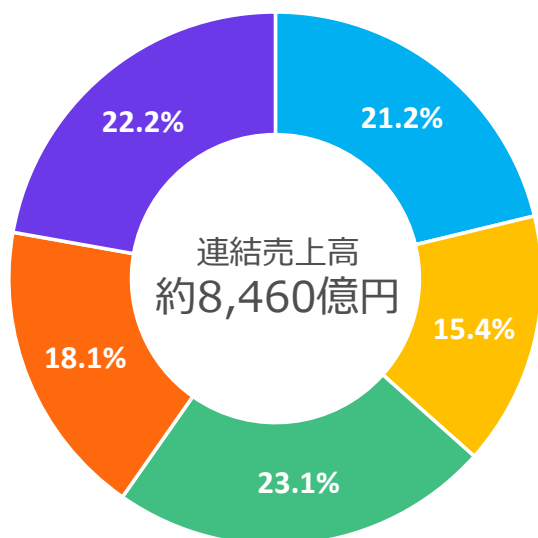
### 通関・陸上輸送

- 全国主要港・空港での輸出入通関
- コンテナドレージ/チャーター/混載トラック配送・集荷



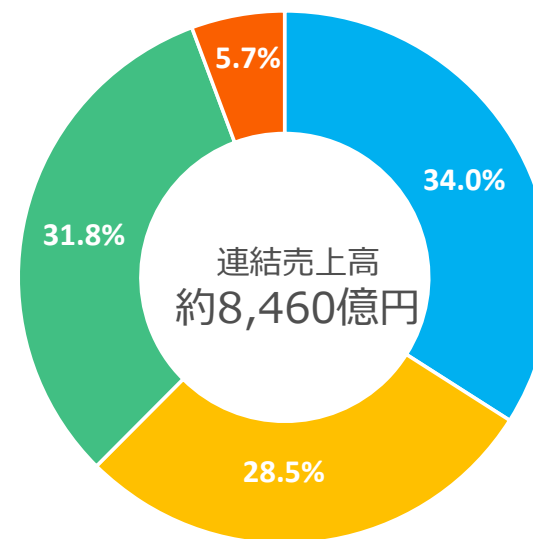
■ 2023年3月期の地域別・事業セグメント別売上高

地域別売上高構成比



■ 日本 ■ 米州 ■ 欧州 ■ 東アジア ■ 東南アジア

事業セグメント別売上高構成比



■ 海上 ■ 航空 ■ ロジスティクス ■ サプライチェーン・ソリューション

# To become the World's preferred supply chain logistics company

従来型のフォワーディングサービスに加え、サプライチェーンソリューションの提供により顧客サプライチェーンの最適化を実現

Corporate TransformationやDigital Transformation、また全ての根底となるESGの取り組み強化する事でありたい姿の実現を目指す

Corporate Transformation (CX)



HR Strategy  
Organization transformation

Digital Transformation (DX)



DX Strategy

Yusen Logistics ESG Story



Environment

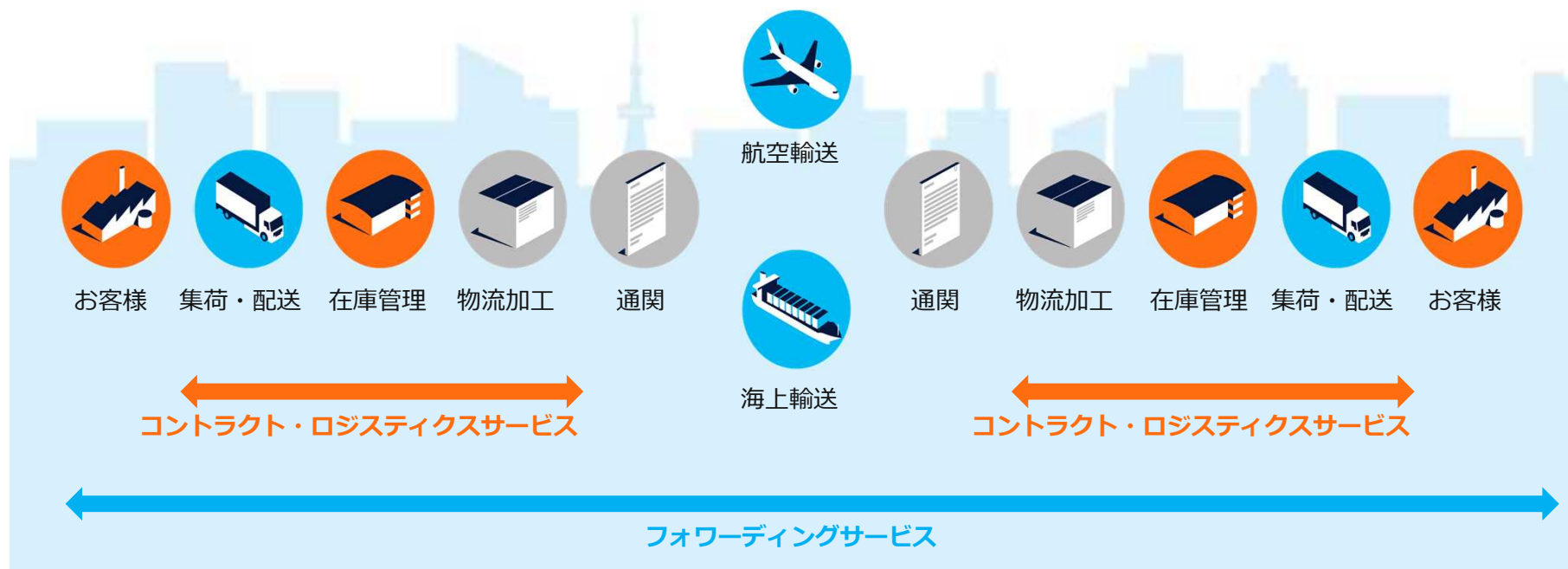


Social



Governance

調達物流～構内物流～製品物流～補修品物流まで国内・海外・域内問わず  
End-to Endでトータルロジスティクスを提供



- Yusen Vantage Focus(YVF)やYusen Vantage Performance(YVP)をベースとしDigital Forwardingの機能を強化。サービスの品質向上、またサービスラインナップの増加を目指す

## Yusen Vantage Focus



見積りから輸送状況確認までの一連の出荷プロセスを可能にするオンラインツール



### ✓ Instant quotations

WEB上で完結する見積もりを提示

### ✓ Simple booking

提示された見積もりをもってそのまま bookingが可能

### ✓ International tracking services

貨物情報及び追跡情報をリアルタイムで参照することが可能



## Yusen Vantage Performance



顧客システムと連携し単一プラットフォーム上で、サプライチェーン全体の情報管理が可能に



リアルタイムで出荷情報  
動静状況を提供

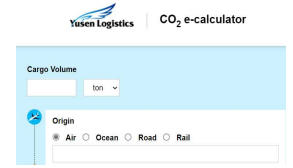
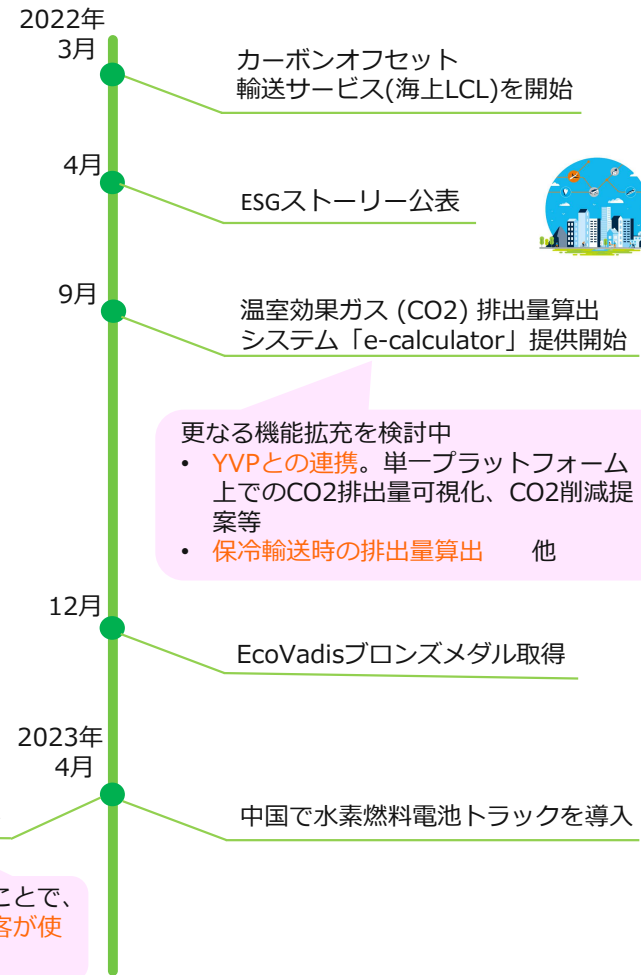
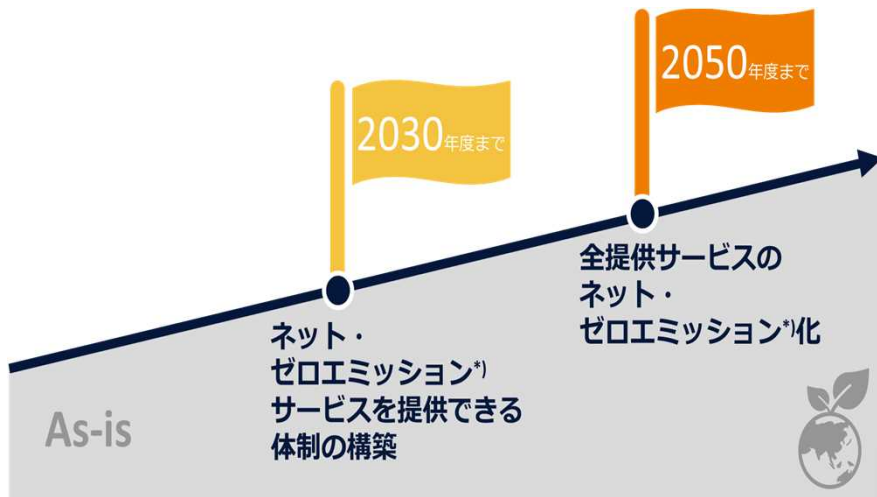


- YVFのプラットフォーム提供により顧客との間口を広げ、新規顧客層を開拓
- YVPのプラットフォーム提供により、顧客の物流課題を解決



# 環境関連の取り組み

■ 2022年1月にネット・ゼロエミッションを宣言。以降、継続して環境関連の取り組みを強化



更なる機能拡充を検討中  
 • YVPとの連携。単一プラットフォーム上でのCO2排出量可視化、CO2削減提案等  
 • 保冷輸送時の排出量算出 他



## 取り組みの一例(SAFの利用)

2021年9月、日系フォワダー初のSAF使用輸送を実施



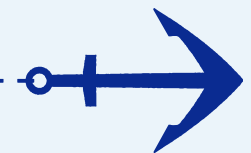
ユナイテッド航空のSAF利用プログラムに参画  
 \*ルフトハンザ・カーゴ社ともSAF利用に関する契約を締結



Yusen Book-and-Claim 提供開始

当社とSAF利用契約を締結することで、当社が保有するSAF割当量を顧客が使用することができるサービス

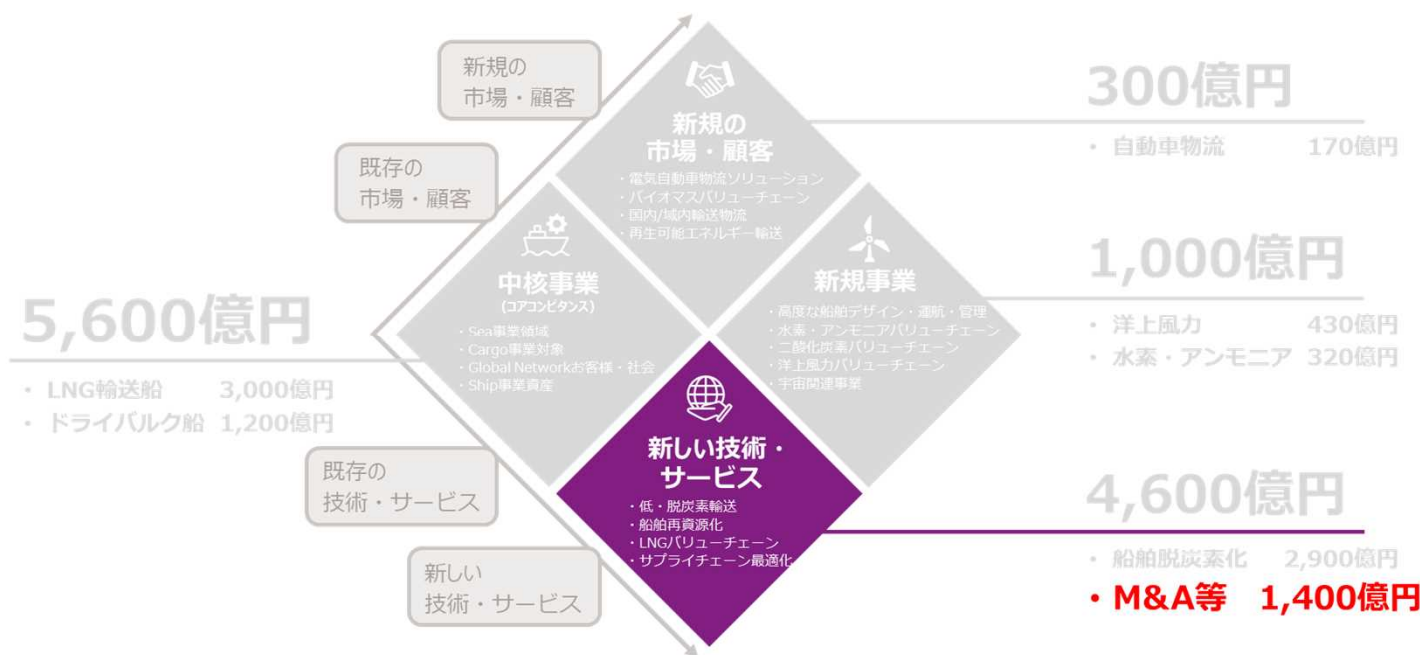
### 3. 投資計画、M&A





## 投資方針 - 全体概要

- コロナ禍ではマーケットの追い風もあり**利益水準は大きく上昇**
- FY2023はポストコロナとなり**マーケットも沈静化**、利益水準はFY2022比で下落見込み
- 今後成長軌道を維持するにはOrganic Growthのみでは足りず、**断続的にM&Aを含む必要な投資を行う必要**あり
- 生まれた投資余力や各事業の戦略に基づき、**FY2026までに1,400億円**規模のM&A含む投資を予定



日本郵船 中期経営計画（2023年3月10日発表）  
「事業投資方針」から抜粋、該当箇所をハイライト

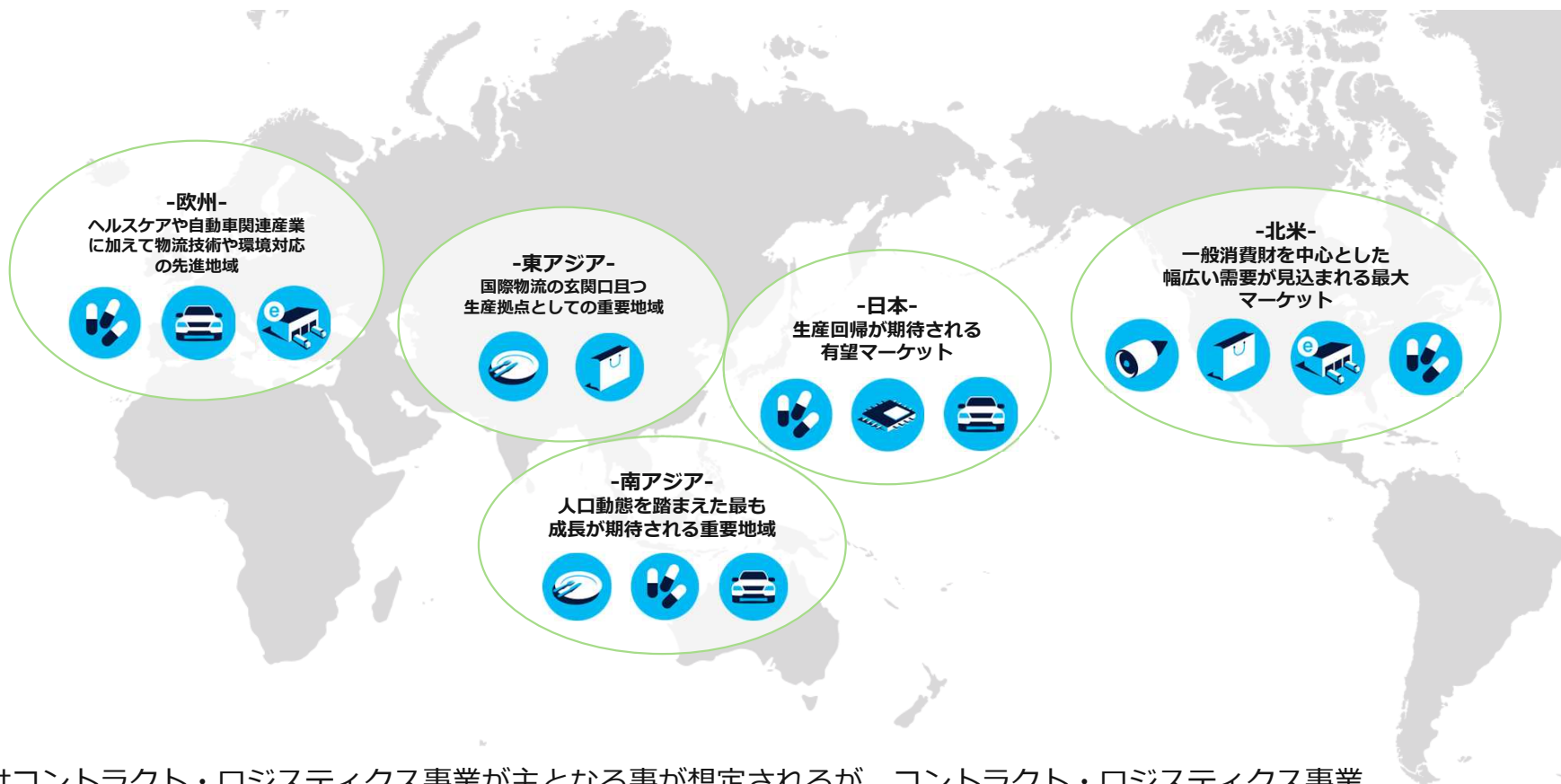


## 地域特性及び戦略分野

- 地域特性と戦略分野を見極め投資の対象案件を選定
- 大規模なM&AはGHQ主導、各地域・個社では機能補完や特定産業強化の小・中規模のM&Aがターゲットとなる

### 戦略分野

-  ヘルスケア
-  自動車
-  航空宇宙
-  食品
-  リテール
-  ハイテク
-  e-fulfillment



- 投資対象はコントラクト・ロジスティクス事業が主となる事が想定されるが、コントラクト・ロジスティクス事業の拡大により生まれた新たなビジネス機会・顧客層をフォワーディング事業の拡大に繋げることを目指す



## ヘルスケア

### Good Distribution Practice( = 医薬品取り扱いに求められる国際的な認証)準拠に基づいた医薬品の取り扱い

- 欧州では、Pharma Super Highway(温度管理、輸送)というサービス提供や、Good Manufacturing Practice、CEIVといったヘルスケア物流に必要な各種設備、認証を持った拠点を多数運用

- 2022年9月、成田第2ロジスティクスセンターを開設  
2023年4月からはGDPに準拠した医薬品専用ターミナルの運用を開始



←2024年に開設予定のベルギー・ジャンブルーの医薬品倉庫イメージ図

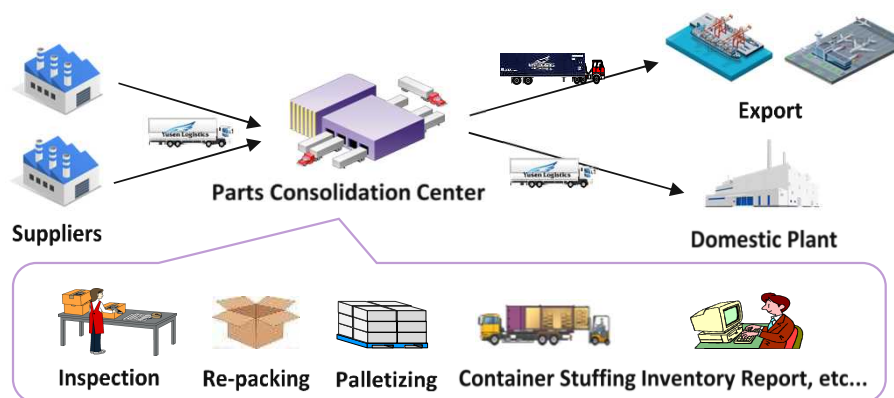
GDP認証に加え自走ロボットや無人搬送車等を導入し庫内作業の効率化を実現



## 自動車

### 自動車産業の幅広い物流領域へのサービスを提供

- 自動車部品のConsolidation Centerを運用。サプライヤーからエンドユーザーまで一連の物流サービスを提供



- 数万点のスペアパーツを保管可能な倉庫を世界各地に保有



■ 過去数年の投資実績の一例。戦略分野における投資実績を着実に積み上げている

戦略分野



e-fulfillment



リテール

(2018年)

英国でe-fulfillment事業を展開する  
**International Logistics Group社**を買収  
成長マーケットであるe-fulfillment事業への  
参入

戦略分野



ヘルスケア

(2022年)

ベルギーでヘルスケア物流事業を展開する  
**Group Pierre**を買収  
欧州域内でのヘルスケア物流商権の獲得と、  
ヘルスケア物流ノウハウの水平展開に期待



戦略分野



自動車

(2018年)

台湾国内で自動車補修部品物流事業を展開する  
**Uryi Logistics Solution社**を買収  
台湾国内の自動車部品物流への参入

戦略分野



フード

(2018年)

マレーシアでコールドチェーン事業を展開する  
**TYGC社**を設立

コールドチェーンネットワークを拡充

(2020年)

味の素グループのタイ物流会社を買収  
タイ国内及びタイ発着の食品物流事業を強化

戦略分野



e-fulfillment



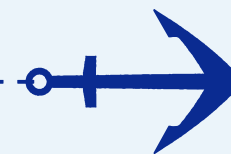
リテール

(2023年)

米国でe-fulfillment事業を展開する  
**Taylorred Service社**を買収  
北米におけるe-fulfillment事業を含むリテール  
産業及びトランスローディング事業を強化



## 4. NYKグループ協業事例



- 総合物流企業としてNYKグループの各種輸送ノウハウを融合し、最適かつ安全な輸送を実現。シナジー最大化に向け協業を推進

### 自動車船との協業事例

#### ①大型トレーラーの輸送



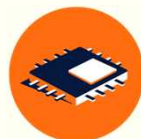
約14mの大型トレーラーをオランダの指定工場から引き取り、日本まで輸送手配

#### ②EVや電動フォークリフトの輸送



EV及び電動フォークリフトをNYKが出資する広州港南沙の自動車専用ターミナルからノルウェーまで輸送手配

#### ③半導体製造装置の輸送



航空機での輸送が主流である自走しない半導体製造装置の輸送手配  
本船へはMAFI\*を用いて積載

\*重機や長尺貨物を積載するための低床トレーラー

何れもNYK  
の自動車船にて  
海上輸送を実施

NYK





**NYKバルク・プロジェクトとの協業事例**

- 2023年4月、石狩湾新港（北海道）における洋上風力発電向け作業員輸送船（CTV）「RERA AS」をYLK及びNYKバルク・プロジェクトにてシンガポールから日本への輸送を実施
- 現在建設が進んでいる石狩湾新港の洋上風力発電施設への作業員輸送に従事予定
- YLKは輸出入通関からタグボートでの曳航含め、輸送全体をコーディネート





#### 免責事項

本資料に掲載されている将来計画や業績予測、戦略、方針、見込み等に関する記載は、資料作成時点で入手可能な情報及び一定の仮定に基づいて作成されたものであり、将来予想に関する記述に該当します。将来予想に関する記述は、予想、予測、期待、傾向、目的、計画、確信、模索、継続、可能性等の文言又は類似する表現が含まれることがありますが、これに限定されるものではありません。これらの記述は、様々な不確定要素及び可変要因により、実際の業績、結果、パフォーマンス等と大幅に異なる結果となる可能性があります。

本資料に掲載されている将来予想に関する記述と実際の結果との間に不一致をもたらす可能性のある要素としては、海運市況の著しい変動や、為替・金利・燃料油価格の変動などが挙げられますが、これらに限定されるものではありません。諸要素の詳細については、EDINETに掲載されている当社の有価証券報告書にも記載されていますので、ご参照ください。

本資料に記載されている将来予想に関する記述は、本資料作成日時点のものであり、当社は、本資料作成日以降に判明した新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された情報を最新のものに変更する義務を負うものではありません。

本資料に掲載されている情報は、信頼できる情報源より取得するよう努力していますが、その情報の正確性または完全性については保証または約束するものではありません。当社は、本資料において使用するデータ及び表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされる損害等に対する責任は一切負いかねますのでご了承ください。